



気になるあの人に チューモク!! 7

地域から頼りにされる 女性消防団員でありたい

市消防団女性部 部長 ^{いわもと} ^{ひとみ} 岩本 仁美さん(高瀬町・58歳)



「災害時には、皆さんを精神的にサポートできる存在になりたい」と話す岩本さん

知識や技術がなければ 大切な誰かを守れない

消防団というと男性をイメージしがちですが、三豊市消防団に女性部があるのはご存知ですか？

「東日本大震災が起こった時に感じたこと。それは、テレビから情報は流れてくるのに、何もできないもどかしさや無力感でした。その思いをきっかけに、防災についての知識を深めようと、職場での研修に参加したり、防災士の資格を取ったりしました。もっと自分に何かできることは

ないかと考えていた時に、市消防団女性部が結成されることを知り、すぐに応募しました」と話すのは市消防団女性部の部長を務める岩本仁美さん。

岩本さんを含む女性消防団員の皆さんは、普段は自分の仕事をしながら、地域のイベントなどを通して防火・防災啓発に取り組んでいます。女性ならではの視点からできることを考えて活動していると岩本さんは話します。

「災害が起こった時に自分がそこにいなければ、家族を守ってくれるのは近所や地域です。昔に比べ、地域の行事や集まりが少なくなっているので、私たちの活動が地域のつながり作りのきっかけになればうれしいです」

また、現在消防団女性部は、11月に開催される全国女性消防操法大会に県代表として出場するため、日々訓練に励んでいます。

「念願の操法大会出場。めざすはもちろん優勝です」と大会への意気込みを語ってくれました。



▲昨年11月から全国女性消防操法大会に向け、訓練をしています



▲5月30日には結団式が行われ、操法大会での活躍を誓いました

女性消防団員募集

消防団活動に興味のある市内在住・在勤の18歳以上の女性を募集しています。

▶問い合わせ
危機管理課 ☎73-3119



今月号は、広報担当に紙作りとなりました。興味をもって読んでもらえる文章とは、目を惹く写真とは、と試行錯誤の毎日です。取材では、「写真うまいこと撮れよんな？」と温かい言葉をいただくことも。Uターンで三豊市に帰ってきた私にとって、人の温かさや豊かな自然に触れられる三豊市は、ほっと安らげる場所です。これから取材を通じて三豊市の魅力を再発見し、たくさん発信できるように頑張ります！



「広報みとよ」をアプリで配信しています
スマートフォンやタブレット向けの無料アプリ「マチイロ」でも広報みとよをご覧いただけます。

※アプリは無料でダウンロードできますが、情報の受信には通信料が必要です。 ▲アプリのダウンロードはこちらから